

H24.7.20(金)

たつみっこのための



# すたなび

NO. 27

辰美小学校

## ～子どもにやる気を持たせるために～

毎日蒸し暑く、天気も不安定な日が続きました。そんな梅雨も今週に入って、やっと明けました。日差しの強い日が続きますが、子どもたちは夏の暑さにも負けずに、毎日元気に学習しています。早くも一学期も終わりを迎え、いよいよ長い夏休みに入ります。「夏休み」といっても、特別なことばかりでなく、毎日の積み重ねが大切です。子どもたちには、長い夏休みをのびのびと過ごしてほしいところですが、コツコツと自分で時間を決めて、学習する習慣も身につけてほしいものです。そこで今回は、夏休み中に子どもがやる気を持って学習に取り組めるための「家庭学習」の方法や学習例、取り組めそうな学習のポイントについて紹介します。ぜひこの長い休みの間にでも、ご家庭でお子さんと一緒に取り組んでください。

### ○家庭学習の意義

なぜ家庭学習が必要なのでしょう。家庭学習をすることによって、次のような教育的効果が期待できます。

- ・学習内容の定着（次の意欲へとつながる）
- ・脳の活性化
- ・学ぶ習慣が身につく。
- ・がまん強さ・根気・集中力を付けることができる。
- ・家族のふれあいが生まれる



### ○家庭学習をさせるときの7つのポイント！

家庭学習をさせるのに、やる気を持たせてできるかどうかは、保護者の方の姿勢や協力にも関係します。ぜひご家庭において、子どものやる気を引き出すような、はたらきかけをお願いします。

- 【その1】決まった時間に、毎日コツコツさせる。(とにかく毎日続けること！)
- 【その2】集中して学習させる。(「学年×10分」を目安に集中して！)
- 【その3】家庭学習をしているときは、テレビを消して。(～ながらはダメ！)
- 【その4】整頓された場所でよい姿勢で学習させる。(落ち着いて学習できる環境を！)
- 【その5】子どものがんばりを認め、ほめて励ます。(進んで学習する意欲が出る！)
- 【その6】学力アップは、規則正しい生活から。(「早寝、早起き、朝ごはん」のリズム！)
- 【その7】子どもに寄り添う心や姿勢を忘れずに！(子どもはいつも見ていてほしいのです)

### ○自主学習 参考例 ～自分で見つけて やる学習～

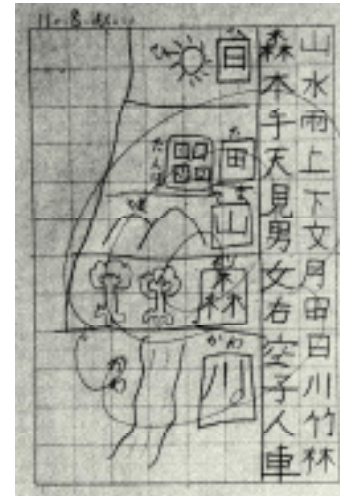
自分でできそうな下記のような課題(テーマ)を見つけて、取り組ませてください。今使っているノートの続きや夏休み用として1冊用意するのもよし！「やってみようかな?」と思った時がチャンスです。どんどん「褒めて」「らせて」「やってみる!」という気持ちを持たせてあげてください。

国語	算数	社会・理科・総合
<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字練習</li> <li>・漢字ドリル</li> <li>・意味調べ</li> <li>・日記</li> <li>・音読・視写</li> <li>・テストのやり直し など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算練習</li> <li>・計算ドリル</li> <li>・教科書の問題</li> <li>・百マス計算</li> <li>・テストのやり直し など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した内容や関連した興味のある内容を本やホームページ等の資料などで調べる。</li> <li>・学習したことをノートにまとめる。</li> <li>など</li> </ul>
<p><b>日常生活</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書をしましょう。見えない学力を高めます。</li> <li>・国語辞典、漢字辞典、その他図鑑を身近に置いて調べましょう。</li> <li>・日本地図、世界地図、地球儀を身近に置いて調べましょう。</li> <li>・小学生新聞など、新聞に目を通してみましょう。</li> <li>・ニュース番組を親子で見、話し合みましょう。</li> <li>・自然や生き物とふれあい、観察してみましょう。</li> <li>・詩歌の暗唱をしましょう。</li> <li>・余裕があれば、市販のドリルや問題集にも取り組んでみましょう。</li> <li>・将棋や囲碁など頭を使うゲームをしましょう。</li> <li>・家の仕事を進んでやりましょう。</li> <li>※その他、自分で気づいたことや疑問に思ったことを調べたりすることもいいですね。</li> </ul>		

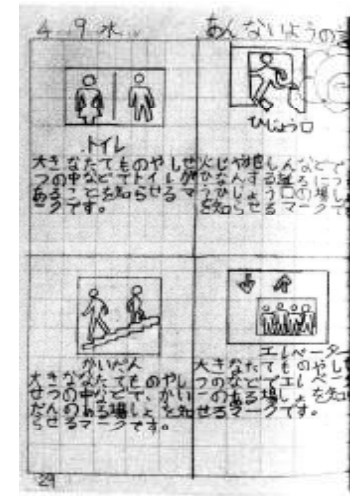


### ○自主学習のノートの紹介

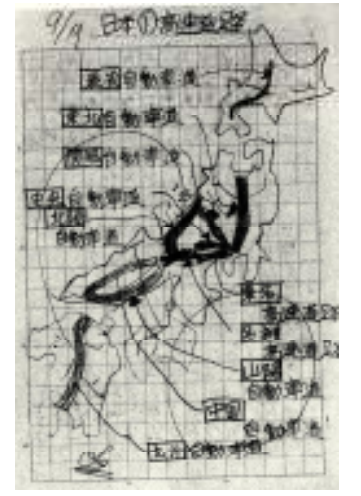
「やらせてみたいけど、どんなふうにまとめたらいいの?」と思われる方にオススメ!ここでは、低学年、中学年、高学年に分けて、自主学習のノートの書き方についての一例を紹介します。興味関心を持って、どんどん自分から学習する意欲が高まってほしいと思います。ぜひ、参考にしてみてください。



1年生 国語  
「漢字の成り立ち」



3年生 日常生活  
「身の回りの記号やマーク」



5年生 社会  
「日本の高速道路」

